

相模女大家政 ○ 永井房子  
 実践女大家政 平山順之

## 目的

私達は経目の機械的性質、特に経目のすべり変形に着目し、経目による剪断性への影響について検討を重ねてきた。前回は特性値として初期剪断抵抗に注目し初期的な問題を実験的に確かめその結果を報告した。今回は、縫い合わせ方法の違い、縫代長の違いによる各種経目の剪断性への影響について検討した。

## 方法

剪断特性の測定および実験条件は前回と同様である。前回、経日本数が増すと剪断抵抗は大きくなる結果を得た。更に、経目自体の剪断抵抗を切り離すために試長を5 cm, 8 cm, 11 cmと変化させて実験を行ない剪断抵抗を分離するための実験式を導いたが、試料が少なかったため実験式の適合性が充分確認されなかった。

そこで今回は、各種の布、縫い合わせ方法の違い、縫代長の違いによる試験片について実験を重ね、前回導いた実験式の適合性について、これとともにも各種経目の剪断特性に検討を加えた。

## 結果

縫い合わせ方法の違いにより剪断抵抗に差があること、縫代長が大きくなると剪断抵抗は大きくなる結果を得た。また、これから試験片について試長を変化させて実験を行ない、結果から、前回導いた実験式の適合性が得られた。